さわやからいふ通信

Vol. 87
2026. 1. 1 発行

『花が咲く道へ』Yosi

1月

1 木 大安		16 金 友引	
2 金 赤口		17 土 先負	
3 土 先勝		18 日 仏滅	
4 日 友引		19 月 赤口	
5 月 先負		20 火 先勝	
6 火 仏滅		21 水 友引	
7 水 大安		22 木 先負	
8 木 赤口		23 金 仏滅	
9 金 先勝		24 土 大安	
10 土 友引		25 日 赤口	
11 日 先負		26 月 先勝	
12 月 仏滅		27 火 友引	
13 火 大安		28 水 先負	
14 水 赤口		29 木 仏滅	
15 木 先勝		30 金 大安	
		31 土 赤口	

2月

1 日 先勝		16 月 仏滅	
2 月 友引		17 火 先勝	
3 火 先負		18 水 友引	
4 水 仏滅		19 木 先負	
5 木 大安		20 金 仏滅	
6 金 赤口		21 土 大安	
7 土 先勝		22 日 赤口	
8 日 友引		23 月 先勝	
9 月 先負		24 火 友引	
10 火 仏滅		25 水 先負	
11 水 大安		26 木 仏滅	
12 木 赤口		27 金 大安	
13 金 先勝		28 土 赤口	
14 土 友引			
15 日 先負			

3月

1 日 先勝		16 月 仏滅	
2 月 友引		17 火 大安	
3 火 先負		18 水 赤口	
4 水 仏滅		19 木 友引	
5 木 大安		20 金 先負	
6 金 赤口		21 土 仏滅	
7 土 先勝		22 日 大安	
8 日 友引		23 月 赤口	
9 月 先負		24 火 先勝	
10 火 仏滅		25 水 友引	
11 水 大安		26 木 先負	
12 木 赤口		27 金 仏滅	
13 金 先勝		28 土 大安	
14 土 友引		29 日 赤口	
15 日 先負		30 月 先勝	
		31 火 友引	

新春インタビュー

聞き手　さわやからいふ顧問　黒田太郎

最高経営責任者　白川秀二

代表取締役社長　出口明美

さわやからいふ顧問　黒田太郎

黒田　皆さま明けましておめでとうございます。今年のさわやからいふ通信も、毎年恒例となりました、白川代表と出口社長へのインタビューにて幕を開けたいと思います。それでは早速ですが、出口社長に昨年一年間を振り返っていただきたいと思います。

出口　昨年4月までは、一昨年からの流れを受けてまずまずの会社運営ができていたのですが、その後退職が重なったことで、厳しい運営を迫られるようになりました。

黒田　そうでしたか。確か一年前のインタビューでは、白川代表や出口社長が目指していた組織に近づきつつあり、コロナの危機を皆で力を合わせて乗り切ったことで、組織として一皮むけたというお話でした。退職はそんなに大きな痛手だったのでしょうか？

出口　介護の仕事は資格が必要な範囲が広く、その分退職者が出たときの補充は簡単ではないのです。紹介会社にも人がいないという状況で、介護業界の人手不足はまさに深刻です。

白川　マスコミ報道の影響も大きいと思います。彼らは介護業界について負の情報しか流しませんから。また、個人の資質という面もあります。弊社は、従業員の処遇や福祉について、まさにマスコミで報道して欲しいほどの努力をしていますが、「それでも足りない」という権利意識の強い方もいます。むしろそういう人が退職することで、長期的には弊社の体質を強化するとも考えられますが。

出口　行政からの圧力は強まるばかり、事務はどんどん細かくなり、これも人手不足に拍車をかけています。

黒田　しかし、介護業界の人手不足は今に始まったことではなく、毎年のインタビューでも常に語られていたことのようにも思うのです。意識の高い方が入社され、意識の低い方は自然と離れていった、そんな流れだったと思うのですが、もう少し詳細に何が起きたかお聞かせいただけますか？

最高経営責任者　白川秀二

出口　もともと人がなかなか採れないという前提で、皆で力を合わせる体制が構築できてきたのですが、どうしても人が足りない所には社長自らが助けに入る必要も生じ、かつ、特定の人に特定の業務を集中させなければならず、その方が辞めてしまわれると、周囲の人材でその穴を埋めようとしても埋め切れない、こんな現象が起きたと理解しています。

黒田　非常に厳しい状況ですね。打開策はあるのでしょうか。

出口　この状況で救世主とも思える方が入ってくださることになり、少しほっとしているところです。

白川　実は、昨年の一連の流れを受け、社長と私の間で、この会社をたたむのが良いのか続けるのが良いのか、真剣に議論を続けていました。

黒田　そこまでの話をされたとは、今までのインタビューでは全く出なかった話なので驚いてしまいます。そして結論は出たのですか？

白川　続ける決断をしました。

黒田　この一言を聞くことができてとても安心しました。では、存続という決断に至った背景や理由についてもお聞かせいただけますか？

白川　社長とは徹底的に議論し、分析し、過去からの流れの検証もしてみたのですが、実は私たちの判断が正しく、あの判断ができたこの会社は、まだまだ未来に可能性があると分かったのです。具体的には、業績が上向く中で、あれやこれやと魅力的な話をもちかけられましたが、基本的には全てお断りし、さわやか流を貫いたのです。基本を忘れ、美味しそうな話に飛びついていたら、この苦境は乗り越えられなかったでしょう。そう考えると、私たちにはまだまだ運がありますし、かつて松下幸之助さんがおっしゃったように、会社運営が大変な今だからこそ、本当の意味での改革ができるのだと思うのです。

黒田　代表と社長の覚悟を感じ取ることができました。それでは今年以降、将来について、出口社長と白川代表から、それぞれの想いをお聞かせいただきたいです。

出口　これまでずっと続けてきた組織改革、つまり部署が責任を持ち、部署間で助け合い、部署ごとのばらつきを無くす、ということを愚直に続けていくのだと思っています。ただ、2年前なら求人を出せば人が来ましたが、今は基本的に来ません。ましてや即戦力になるような方は来ません。従って、これまでやってきた組織改革を続けるといっても、同じように続けるということではなく、より厳しい前提を置いて強化していく必要があるのです。とはいえ、毎年申し上げてきたように、年々組織は良くなり人も育ってきているので、光は見えています。そして社長である私自身も変わる必要があります。どうしても仕事を抱えてしまう傾向がある私です。これをいかに切り離し、皆さまにお任せし、私自身がもっと大所高所からさわやかからいふを見つめられるか、これが私自身の課題と認識してやっていきたいと思います。

白川　弊社は1999年6月に設立されましたので、2029年6月には満30歳となります。まずはここを目指し、組織運営は出口社長にお任せしつつ、私としては昨年のこの記事でも触れたように、代替わりについても考えていきたいと思っています。どんな組織でも、権力が長期化すれば腐敗しますから、代替わりによる新陳代謝はとても大事なことだと思うのです。ただ、何でもかんでも新しくすればよいかといえば、それは違います。何を変えて何を残すか、これが経営において最も難しく最も面白いところだと思います。弊社の創業者は私であり、出口社長は第二期創業メンバーであり、我々は幾多の困難を乗り越え今に至っていますが、社内にはそれを知らない人も多くなりました。従って今後は、語り継ぐということを実践したいと思っています。次号からのさわやからいふ通信には、重要な出来事などについて書き記していきます。これが弊社に関わる人の目に触れ、理解が深まれば、何を変え何を残すかの判断に役立つと思うのです。

黒田　とても深いお話を有り難うございます。御社の輝かしいご発展を祈念いたします。

問わず語り

～伝道ポスターの言葉から～（45）

林河山　明泉寺住職　林川英昭

「問わず語り」とは、だれにも問われることなく自らが話をすることです。お寺の門前には伝道掲示板があり皆さんにメッセージを発信しています。少し足を止めてその言葉を自分なりに味わってみませんか。

「手を放す　軽くなる　満ちていく」

（藤井風「満ちていく」）

みなさま、あけましておめでとうございます。いかがお過ごしでしょうか。今年はどのような年になるでしょうか。

藤井風さんは岡山県出身のシンガーソングライターでピアニストです。私は標記の言葉が伝道ポスターとして掲示されるまで、藤井さんの存在を知りませんでしたが、とても有名な方のようです。あらためて、藤井さんの「満ちていく」の歌を聴き、歌詞を読ませていただきましたが、なかなか味わい深く感じました。

人間は「グー」で生まれて「パー」で死ぬそうです。生まれたての赤ん坊は手を握りしめています。やがて、手をひらきますが、大人になると手に握りしめるものができてきます。財産、名誉や地位などです。欲のない人もいますが、多くの人は一度握りしめたものは放そうとしません。それどころか、それを守ろうと必死になり、時に人を傷つけます。しかし、年齢を重ねる、または病気になることで地位や財産を手放さないとならない時（死）が訪れます。

私の母は、昭和11年生まれで物の無い時代に生まれ、育ちました。そのためか、物に対するこだわりが強いように思います。

私の住む田舎では田んぼや畑を作ることができなくなり次第に荒れ地が増えています。中には「お寺さんならいつまでもあるでしょうからただで畑を差し上げます」と言われるとすぐに欲しがります。（私が反対するため実現していません）しかし、90歳の母に畑仕事ができるはずもありません。負動産が増えるだけです。それでも欲しいという思いが強くなるのは人間の欲の表れ（煩悩）です。母が強欲なのではなく、人間が煩悩だらけなのです。

お釈迦様の言葉に「田があれば田に憂い」「田なければ、また憂いて田あらんことを欲（おも）う」田んぼがあればそこに穀物がよくできることを願い、それを奪われまいと必死になり、なければどうにかして欲しいと考えをめぐらし、戦国のような世であれば力ずくで奪ったのです。人間は欲に縛られると、時に他人と対立し、傷つけ、傷つけられます。いのちさえ奪うこともあります。

私が尊敬する上毛町の光林寺前住職の言葉に「苦労をすれば苦労をにぎる。我慢をすれば我慢がたまる。我が励めば励むが残る。積んだそれらが他人を泣かす。放つ力がナモアミダブツ」とあります。「私が苦労、私が我慢、私が頑張る」ことで私が中心となり（自己中心）、周りがダメと思うようになるのです。

「手を放す」つまり私のものという気持ちを捨てることで、守る必要もなくなる。人のものも欲しがらないようになることで他人との対立もなくなり、気分も「軽くなる」、必要最小限のものだけが残ることに満足を覚え、気持ちが「満ちていく」このことを教えて下さるのが仏教です。

参考文献：大神信章著
『学仏大慈悲心』（探究社）

黒田太郎の政治小話

アジア・アジアパラ競技大会

皆さまあけましておめでとうございます。さわやからいふ顧問、愛知県議会議員の黒田太郎です。昨年の大阪万博は予想外に盛り上がりましたね！予想外などと申しては関係者に失礼かもしれませんが、事前の評判はあまり良くなかった気がします。公式キャラクターのミャクミャクについても、「気持ち悪い」という声を聞きました。しかし終わってみてどうだったでしょうか。入場者数は２００５年の愛・地球博を上回り、黒字化の目安を超えました。あのミャクミャクも大人気、コスプレでなり切っている人も多く見掛けました。終わり良ければ全て良しではありませんが、一定の成功を収めたと言えるでしょう。

何故万博の話をしたかというと、今年は愛知県を中心に、アジア・アジアパラ競技大会が行われるからです。万博同様の国家行事であるにも関わらず、まだまだ認知度が低い気がしますので、この紙面をお借りして宣伝をしつつ、私が昨年６月の愛知県議会本会議で取り上げた、同競技大会に関する気になる話を取り上げてみたいと思ったのです。

具体的には、総合格闘技という種目が、昨年５月に急遽競技種目に追加されたということです。急な追加は百歩譲るとして、総合格闘技には、それを運営する団体が幾つかあり、毎年世界大会を開催するメジャー団体から、国際大会開催経験の乏しいマイナー団体まで、様々あるなかで、何故かマイナー団体が運営する総合格闘技が選ばれたのです。私はこれについて、明らかにおかしい！と発言しました。

私が議会で主張した要点は、①マイナー団体では国際大会の開催能力に疑問がある、②マイナー団体のルールでは著名選手が参加できない可能性がある、③結果として観客動員がうまくいかない可能性がある、の三つでした。そして県に対し、団体を変更するのが無理ならば、その団体だけでなくメジャー団体も協力して、大会運営や選手選考ができるように求めたのです。県は、「実行委員会に対してしっかり伝えます」と答弁しましたが、果たしてどの程度伝えるのか、伝えたところで実行委員会がまさに「実行」するのか、それらを私は監視しようと思っていました。

そうしたところ、昨年11月になり、国内予選会の開催が発表されたのですが、なんとそれが発表から３週間後の開催。減量や遠征がある競技ではありえない日程設定ということで、私は再度県に対し問題提起をしているところです。

もちろん、同競技大会の種目が皆こうだとは申しません。むしろ総合格闘技が特殊だと思いますし、議会でどのようなやり取りがなされているのか分かりやすい具体例として挙げさせていただきました。同競技大会は本年９月から開催されます。どうか皆さま、興味を持って注目していただければ幸いです。

黒田太郎氏の略歴

一九六七年一月　生まれ
一九九〇年四月　日本銀行入行
二〇〇二年七月　大塚耕平参議院議員秘書
二〇一五年四月　愛知県議会議員（千種区選挙区）

さわやからいふコラム

スポーツの力
―MLBワールドシリーズより―

ＪＡ愛知厚生連海南病院　名誉院長　山本直人

令和8年の新しき年を迎え、皆様に心よりお慶び申し上げるとともに、今年こそ世界の全ての方々に、平安、平和に溢れた年であるよう祈念申し上げるところです。

令和7年も、災害や、人間と動物の生態系変化による環境境界の一部障害により野生動物特に熊による被害、大型火災などなど、生活において困難を極めてお見えになる方々に心よりお見舞い申し上げる次第です。そのほかにも、地球規模での課題では、世界各地での紛争や戦闘拡大という悲しい現実や、地球温暖化に伴う、環境破壊、気候変動、大規模自然災害など、対応すべき問題は山積でしょうが、人類は英知を結集し、今年こそより良き方向に進み出すことを心より願うところです。

今回のコラムでは、私たちに多くの感動や勇気を与えてくれるスポーツの力として、個人的な思い入れもはいり誠に恐縮ですが、ＭＬＢ（Major League Baseball）を取り上げてみたいと思います。北米における野球は、大谷翔平選手の素晴らしい活躍により、いまや日本においても多くのファン層があるでしょう。という私もドジャースの大ファンのひとりであり、ワールドシリーズ2連覇という偉業を達成したことに驚きと感動を覚えた次第です。

歴史を振り返りますと、記憶に残るワールドシリーズの名シーンとして以下のシーンがよく取り上げられているそうです。

1. カーク・ギブソンの代打サヨナラホームラン（１９８８年）足の負傷で歩くこともやっとだったドジャースの選手が、第1戦の９回裏に代打で登場し劇的な逆転サヨナラホームランを打ったシーンはシリーズ史上でも驚きの瞬間でしょう。
2. ビル・マゼロスキーのサヨナラホームラン（１９６０年）パイレーツの選手が第7戦の９回裏に放ったホームランが決勝点となり、ワールドシリーズの最終戦でサヨナラホームランによって優勝が決まった唯一の試合とされています。
3. カブスの１０８年ぶり世界一（２０１６年）長い間「ヤギの呪い」に苦しんでいたシカゴ・カブスが、クリーブランド・インディアンズとの激闘の末、第7戦までもつれたシリーズを制して優勝した瞬間は、多くのファンの涙を誘うこととなりました。
4. レッドソックスの86年ぶり世界一（２００４年）ボストン・レッドソックスがヤンキースとのリーグ優勝決定シリーズで3連敗から4連勝という快挙を達成し、その勢いのままワールドシリーズを制覇。球史に残る出来事として語りつがれているそうです。

当然、シリーズでは、勝者と敗者が存在するわけですが、歴史をふりかえっても、紙一重の勝負のあやにて奇跡を起こし、多くのファンを魅了したことと感じます。

そういう意味でも２０２５年のＭＬＢワールドシリーズ、ドジャースとブルージェイズとの死闘ともいえる戦いは球史にのこる名勝負の数々でどちらが勝者でも不思議ではない野球の神様が書いた奇跡のシナリオくらいに驚きの連続でした。

なかでも、衝撃ともいえる瞬間はいくつもありますが、やはり大谷翔平の異次元の打棒が第三戦でみられましたことがまず挙げられるのでは。この第三戦自体が歴史にのこる延長戦18回、試合時間６時間39分という死闘だったことも驚きです。大谷翔平はこの日「4打数4安打、２本塁打、5四球」（延長戦ゆえ打席数がおおくなりますから9打席連続出塁という驚くべき記録となります）と活躍し、最初の4打席で相手の監督も白旗状態で、残りの打席は大谷翔平にバットを振らせるなといわんばかりの全て申告敬遠というすごさでした。翌日は、二刀流にて投手としてマウンドにあがるわけですからチームメイトさえも野球の常識そのものを書き換えていることと実感したそうです。大谷翔平は常に注目をあびる存在となっているゆえポジティブなことも時にはネガティブなことも様々いわれることでしょうがそれに対して心の持ちようであるいはメンタルコントロールについて、ある記者会見で、以下のように答えまし

た。「メディアの人にマイナスなことを言われても、あまり気にならないと言いますか、聞き流すわけではないですが、自分が理解していればいいと思うので。すごく反発したくなるというのもないですし、すごく賛同したくなるという気持ちにもならないので。聞かれたことには答えますけど、何が必要なのか、何が足りていないのか。その理解を自分の中でできていればいいというのが根底にあるので。」多大な努力に裏打ちされ、自分の軸がぶれることがない素直な自然体が、年間を通じて活躍し、さらに異次元の記録を次々とうちたてゆくものと、人間力とメンタルコントロールの素晴らしさに、脱帽ですね。

さて、第三戦の延長18回という死闘に終止符をうったのが、ドジャースMVPトリオのひとりであるフレディー・フリーマンのサヨナラホームランでした。ここでもドラマがあり、延長戦で両チームも投手を使い果たしている状態でしたが、ドジャースは前々日に完投したばかりのエース山本由伸が、相当の疲労を隠してでも次の回に備えてブルペンで肩をつくり投球練習を始めた姿をフリーマンが見つけ、「彼を次のマウンドにあがらせるわけにはいかない」という強い気持ちとチーム全員で勝利をつかみ取るため、山本由伸の献身的な姿にむくいる思いやりが凝集して、劇的ホームランに結びついた感動的瞬間でした。

両チームは共に3勝し、ついに最終戦の第7戦までワールドシリーズの勝負がもつれこむことになりますが、ドジャースにとってアウェイであるトロント、ロジャース・センターでの試合でした。9回表1アウト、3対4で1点を追いかけるかたちでしたが、あとアウト2つでドジャース敗北まで追い詰められた中、ミゲル・ロハスが気合いのこもった同点ホームランで追いつくことになります。そして、9回裏（この場面でも1点でもとられればドジャースはサヨナラ敗北）。1アウト満塁というサヨナラ負け絶体絶命の危機的状況で、驚きの中0日でエース山本由伸が登板。ここで守備陣がチームを救う2つの奇跡的守備をみせました。ロハスの二塁ゴロからの紙一重の本塁送球のアウトで1つ目の危機を救いました。しかしまだ2アウト満塁のピンチ。打球は左中間に飛び、誰もがサヨナラ負けを覚悟したその時、中堅手のアンディ・パヘスが猛然とダッシュし、同僚と衝突しながらもボールをグラブに収めピンチをしのぎました。勇気と執念のプレーに驚きです。結局、延長11回ウイル・スミスのホームランとその裏の山本由伸の力投でドジャースが勝利、2連覇を達成することとなります。まさに、チーム全員でつかんだ栄光の瞬間でした。

2025年のワールドシリーズは歴史に残る激闘と評価され、素晴らしい試合を毎回みせてくれ両チームの実力差はほとんどないに等しいかと考えられていました（事実、私は第4戦以降、ブルージェイズに勢いがあり第7戦でのドジャースの連覇は相当困難と思った次第です）。

個人的感想もはいりますが、少しだけドジャースが優位だったことは、チームメンバーがチームの勝利のために、自己犠牲や利他の精神をもち、そして楽しい仲間意識、決して最後まであきらめない気持ちの強さが、チームとして文化になっていたのではないでしょうか。個々には、MVPトリオを始め素晴らしいプロフェッショナル集団ですが、いくら個々にスーパースター級のメンバーで組んだとしても、決して必ず勝てるというものではないと考えます。歴史あるドジャースが連綿と受け継いできた精神、チームの絆やお互いがリスペクトし思いやりのある組織は本当に強い組織づくりができるのだなあと、感じたところです。

今年は、いよいよWBCが開催され、MLBシリーズ開幕、そして最後はワールドシリーズへとつづいてゆきますが、また進化した瞬間の数々を楽しみたいと思いますし、スポーツの力で私たちに勇気と感動を与えてくれるでしょう。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げて、今回のコラムを閉じさせていただきます。

ＪＡ愛知厚生連海南病院
名誉院長　山本　直人

【略歴】
昭和五四年三月
名古屋大学医学部卒業
昭和五四年五月
名古屋第二赤十字病院
昭和六三年七月
愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院
脳神経外科部長
平成十五年四月
愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院　病院長
【主要な公職一覧】
（平成二〇年五月現在）
日本脳神経外科学会専門医・指導医
名古屋大学医学部　臨床教授
日本病院会　理事
日本病院会　愛知県支部　副支部長
ほか

デイサービス

まほろば中川

ハロウィン

まほろば中川では10月のお楽しみイベント、ハロウィンパーティーを2日間に渡り開催しました。最初はリアル間違い探しから始まりました。スタッフの変装の変化（2箇所）を当てていただくゲームです。次に『目玉飛ばし』『お化け積み』『パンプキン射的』とハロウィンらしいゲーム名で揃えました。それぞれのゲームには得点が用意され、高得点の方にはハロウィンメダルが贈呈されます。全てのゲームが終わって表彰式でメダル授与式を行い、金メダルを2つ獲って喜ばれている利用者さんがいらっしゃいました。身体を動かした後は、おやつのプリンで一息つきました。最後に感想を伺うと「今日の夢に見るぐらい楽しかった。」「身体を動かしてリハビリになった」「金メダルが欲しかった」「雰囲気も良くてみんなで楽しめた」「イベントに初めて参加したけど、新鮮で楽しかった」と大盛況で終えることができました。

敬老の日

9月15日は敬老の日。まほろば中川では敬老会を行いました。昨年に続き90歳以上の方には感謝状を贈りました。この日は4名の方が参加され、赤いちゃんちゃんこを着てみなさんの前に座っていただき、感謝状を渡して記念撮影を行いました。恥ずかしそうにされる方や、「こんな良くしてもらってありがとうございます」と立ち上がってお辞儀される方、笑顔でピースされる方など様々な反応が見れました。お楽しみのおやつは紅白饅頭をみなさん揃って召し上がっていただきました。最後に4名の方に長生きのコツを伺いました。「気づいたらこの歳だったからわからない」「難しいことは考えない」「美味しいものをたくさん食べる」などそれぞれのコツを教えてくださいました。

消防訓練

11月に秋の消防訓練を行いました。今回は厨房からの出火という想定で行いました。まずはスタッフの誘導によりみなさん無事に外まで避難できました。火災現場から無事に避難する行動が何よりも大切です。初めての方もみなさんと一緒に行動できて良かったと思います。無事に避難できたところで、消火器を使って消火する作業を体験していただきました。「消火器に触ったことが無いからどうすればいいの?」「こんな体験ができるなんて驚いた。」「火事は怖いね。」「家に帰ったら気を付けないといけないね」と話されていました。

デイサービス

まほろば稲西

社交ダンス

1年ぶりにも鯱城学園の社交ダンス部のみなさんがダンスを披露して下さいました。昨年同様女性の煌びやかなドレスが見られ、利用者さんの目を釘付けにしました。ワルツ・チャチャチャ・ジルバ・タンゴ・ルンバと踊って下さり、見様見真似で踊っていたスタッフに声をかけ『バハマ・マ

マ』と言う曲で飛び入り参加させて下さり大変盛り上がりました。続いて南京玉すだれでは『新技が出来たので…』とのお話があり、簾でハートを作って利用者さんにその中へ入っていただくということでした。選ばれた方は笑顔でしっかりポーズ!最後は『炭坑節』で盆踊り。利用者さんは夏祭りでお馴染みだからお手のもん。「楽しかったわー、ありがとう」と笑顔で話され、大きな拍手でお見送りしました。

ラベンダーの壁画

まほろば稲西の壁画が新しくなりました。今回は気球とラベンダーを題材とした壁画を作成しました。茎は緑の紙を竹串に巻き付けて作ります。花は紫の紙を茎に巻き付けてカールさせます。みなさん苦戦していましたが、慣れてきた人はよそ見して会話しながらクルクルと綺麗に巻けるようになりました。その姿を見てスタッフが「職人技ですね」と称賛。花は切る幅によって見栄えが違ってくるので何度も試行錯誤しながら完成させました。最終的にできあがったラベンダーは30本。ラベンダーは全部で3色でバランスを見ながら貼り付けました。完成した作品を見て苦労した甲斐があったねとみなさんの笑顔が見られました。

紅葉狩り

まほろば稲西の窓から見える稲西公園紅葉狩りに行くことができました。少し肌寒い日ではありましたが、寒くならないと紅葉しませんからね。そんな日でも日の当たる場所は暖かさも感じる事ができました。「4月に退院してから外に出れてなかったから嬉しい」と喜ばれている利用者さんもいました。窓から見える景色を外で見られて、「あそこから見える木があれなんだね」「赤い実が見えてたけど、何の実なんだろうね」と木々を見上げて話されていました。銀杏の実を拾ってきてみんなで匂ってみましたが、「匂わないよ」と言われる方に乗せられて鼻を近づけたら強烈なにおいで、顔をしかめて大笑いしていました。公園にはツリーの木に似た木があり、あの木に飾り付けしたらツリーになるねとクリスマスを楽しみにする言葉も聞かれていました。

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
さわやからいふは、あと二年で満三十歳となります。まずはここを目指しどのような会社にしていくのかを考え、何を変え何を残すかを判断していくのが私の仕事になっていくと思います。
皆様の益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和八年

最高経営責任者　白川秀二

新年のご挨拶

お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年はこれまで続けてきた組織改革、部署が責任を持ち、部署間で助け合い、部署ごとのばらつきを無くす、ということを愚直に続け組織強化していくことが私の責務だと思っています。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

令和八年

代表取締役社長　出口明美

暮らしのはなし

多様性とは？

さわやからいふ通信編集　加藤裕之

昨年は日本で初めて女性の総理大臣が誕生しましたね。高市総理の「働いて、働いて、働いて、働いて参ります」とやる気をみせたところ、一部の人から信じられないほど非難を浴びてしまいました。ワークライフバランスを総理自ら捨てると発言するとは何事ぞと、私たち一般国民のワークライフバランスが保てなくなるという事でした。前総理のように眠っていないアピールをしたり、自分が評価されていないことに不満を漏らしたりするより頼もしく感じますけどね。よく新政権の最初の１００日をハネムーン期間と言いますけど、今回の新政権に対しては全くなかったですね。アメリカでは報道機関のみならず野党も、この１００日間は新政権に対する批判や性急な評価を避ける紳士協定があります。何がそうさせるのでしょうかね。

あるインターネットの政治系番組での討論で、ワークライフバランスについて総理の発言に対して肯定的意見と否定的意見を話すという番組を見ました。これまで女性の権利やＬＧＢＴＱ推進や夫婦別氏制度を強く訴え多様性を主張している人が総理の発した言葉に否定的であった事にビックリしました。総理は自分自身や目の前に居る自分を選んだ自民党員に対しての言葉であることはその時の動画を見れば分かります。総理大臣がワークライフバランスを守ると言っていたら日本はどうなるのでしょう?かつて問題が起こったときにゴルフをしていたと非難された総理もいたように思います。そもそも政治家は労働基準法の枠には入らない人たちだから無理にワークライフバランスを当てはめる事には疑問を感じます。平穏なときにはワークライフバランスを保って仕事をすれば良いとは思いますが、そもそも政治の世界にワークライフバランスを保って仕事をすることはできないと思います。

民間企業でも沢山働きたい人そうでない人、様々な人が働いています。そして労働基準法によってある程度制限もされています。そこで否定的な意見の方が民間企業では「ワークライフバランスを考えて働くと評価されない」と言うような意見をおっしゃっていました。肯定的な意見の人から「働きたい人はワークライフバランスを無視して働いても良いんですよね」と尋ねると、「良いです」とは言わず論点をずらしていましました。確かに否定的な意見の人が言うような事も現実としてあると思います。ですが最終的には働く人の判断でしかないと思います。それが多様性と言うことではないでしょうか。ワークライフバランスを考えて働く人が居ても良い。ワークライフバランスを無視して働く人が居ても良い。会社から強制されたものでなければ問題ないと思います。

普段多様性の大切さを切々と語る人たちが、実は多様性を否定するというか自分たちが考える多様性以外は多様性にあらずという考えのように思えてきます。だから女性総理なら何でも良いと言うわけではないと、せっかく初めての女性総理をはじめの一歩として捉えず頭ごなしに否定するのは多様性のかけらもないと思うのですがね。ただ高市総理が嫌いなだけのようです。

編集後記

つくづく最近一年が早く感じます。毎年楽しみにしていた流行語大賞も毎年のことですが、どこで流行したのかと言う言葉が入っています。なかには自分が知らなかっただけで世間では本当に流行っていた言葉も沢山あります。２０２５年の大賞の「働いて、働いて、働いて…」というのは流行ったのでしょうか。他にも戦後80年とか古古米とかトランプ関税などはメディアで多く使われたと言うだけで言葉として流行ったという認識はないです。オールドメディアなんて１年遅いし、私が社会の流れの外にいるという事でしょうか。いずれにしても流行は作られるという事ですね。ファッションでもアイテムも色も作られた流行ですから。

さわやからいふ 事業所案内

さわやからいふ本社・中川事業所

■訪問介護事業　2371000759
■居宅介護支援事業　2371002177
■デイサービス事業　2371003019
■介護教育事業　介護職員初任者研修
　同行援護従業者養成研修

〒454-0024
名古屋市中川区柳島町4丁目16番地
TEL：052-364-6001　FAX：052-364-6005
デイサービス「**まほろば**」
TEL：052-364-6007　FAX：052-363-6027

中村事業所

■住宅型有料老人ホーム
■デイサービス事業　2370503514

住宅型有料老人ホーム「**さわやかの家 稲西**」
TEL：052-414-7704
デイサービス「**まほろば稲西**」
TEL：052-414-7335
〒453-0849 名古屋市中村区稲西町90番地
FAX：052-414-7336

ウイズレント

■福祉用具貸与
■介護予防福祉用具貸与
■特定福祉用具販売
■特定介護予防福祉用具販売　2371003142
■名古屋市介護保険
　住宅改修費受領委任払　7681000058

〒454-0024 名古屋市中川区柳島町4丁目16番地
TEL：052-304-8008　FAX：052-364-6005

みずほ事業所

■訪問介護事業　2370800993
■居宅介護支援事業　2370801231

〒467-0012
名古屋市瑞穂区豊岡通1丁目25番地
　シャンボール近藤１Ｆ
TEL：052-737-6565　FAX：052-737-6567

さわやからいふ スタッフ募集

①登録ヘルパー	（パート）	[中川・みずほ事業所]
②有料老人ホーム	（パート）	[中村事業所]
③サービス提供責任者	（パート）	[中川・みずほ事業所]
④介護支援専門員	（正社員）	[中川・みずほ事業所]

採用サイト　ＰＣ／スマホ
https://sawayakalife-saiyo.jp

電話でのお問い合わせは
0120-976-619まで

さわやからいふホームページ
https://sawayakalife.jp

さわやからいふフェイスブック
https://www.facebook.com/sawayakalife

発行所/
〒454-0024 名古屋市中川区柳島町4丁目16番地
発行人/
㈱さわやからいふ
※ 掲載記事・写真の一部または全部を無断転載することを禁じます。